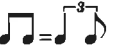


『ジャズ風古典』 寸評

- ・ジャズ風古典、ねらいはよくわかる
- ・ドラムのバスドラムのリズムがいい
- ・それに合せて第2・4拍にスネアが入るていどの方がうるさくなくてよかったかも
- ・メロディとVn.IIの関係もまずまず
- ・しかしながら古典とジャズ、どっちつかずになってしまった気もする

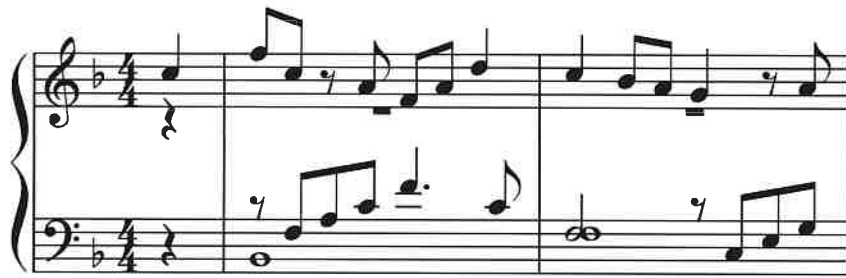
完成度をさらに上げるために

- ・Vn.Iに *div.* 指定があるので弦楽合奏を想定しているのかな
- ・それならViolins, Violoncellosと複数形で表記
- ・ノリのよいバスドラム、全音符に終始するチェロ、
どちらかに音楽のスタイルを統一したほうがよい
- ・Vn.Iはフレーズに沿ったスラーではなく、こまかくつけていった方が
より音楽の性格に沿う→リズムミクな楽曲
- ・m.8 ホルンだけ *p* すごくおかしい
- ・全体的に *f* と *ff* が多すぎる これも正しく理解してほしい
- ・forte→強い fortissimo→比較最上級
- ・ *ff* はそれ自体が音楽の事件 それに見合う場面なのか
- ・基本としてすべてのパートにおなじダイナミクを振ること
- ・m.2-3 ホルンの移調あってる？
- ・編成の意図がよくわからない 弦楽合奏としても歯抜け、
ジャズスタイルならチェロではなくダブルベース、
ホルンも内声補充でちっともソリストティックでない
- ・スウィングするならその旨を指示する **Swing** 

m.=measure 小節番号のことです。

説得力ある作品を実現するために

- ・メロディを和声分析 メロディに適切な構成音をふくむコードは何か
メロディから和声の構成音と和声外音を認識する
- ・分析の結果みいだされたコードのどの音をベースにするのかきめる
- ・メロディとベースがカデンツに適合しているかしらべる
I-V-I, I-IV-I, I-IV-V-Iのどれかで分析できるか
- ・メロディとベースが用いていない構成音を中心に内声をうめる
- ・作品を大譜表上の四声体におきかえて、和声連結における問題点を
洗い出す作業も有効



F: IV? I?

一つひとつ理解をクリアにしていこう。
持磨勉